

2025年3月2日

**2025年度 早稲田大学 スポーツ科学部
一般選抜（総合問題）解答例**

I.

問 1. c

問 2. e

問 3. b

問 4. a

問 5. a

問 6. i

問 7. b

問 8. g

II.

問 1. 21

問 2 (1) 32

(2) -45

(3) ① b

② b

③ c

④ a

⑤ b

⑥ c

⑦ a

※お問い合わせいただいた内容は本学において確認いたしますが、個別の回答は行っておりませんので、ご了承ください。解答や得点に影響があると判断した場合は、入学センター Web サイトに掲載いたします。

以上

お問い合わせ先：早稲田大学入学センター

nyusi@list.waseda.jp

2025 年度 早稲田大学 スポーツ科学部 一般選抜（総合問題）出題の意図

I：日本のみならず全世界が経験した世界的な感染症の大流行とそれに伴う生活環境の変化を調査した報告から、データの読み取り、類推する総合的な思考力を評価する。スポーツ科学は異種の学問が並列する総合科学ではなく、異種の基礎科学を融合させて新たな実践科学的側面を創出する「学際的総合科学」という特性を持つため、この論文を題材に一分野の知識に依存するのではなく、学際的な視点からこの問題に取り組む姿勢を問う。COVID-19 は終息したが、今後も新興感染症は常に発生し得ることを認識し、それに対する準備を進める必要がある。本学の趣旨にある地球市民を目指す学生には、人や物、情報が地球規模で流動するグローバル化した現代社会の中で発生した COVID-19 によるパンデミックは、感染症が人の健康や社会に大きなインパクトを与えることを再認識し、この問題を通じて地球市民として何ができるかを考えてもらいたい。

II：身体組成は体脂肪測定機能を備えた「体重計」の普及によって一般にも広がっており、スポーツのみならず、健康、疾病予防においても重要な評価項目となっている。また、スポーツにおいては各種アスリートの身体能力、ひいては競技力にも密接に関係している。そこで単に数値の大小や標準値を問うのではなく、日常的に活用することを取り上げた。身体の変化を記録し、その傾向を分析することは基本であり、身体組成（体重、体脂肪率、除脂肪体重）は様々な分野で活用される。高校保健体育・教科書に収載される用語以外も含まれるが、その算出においては高度な計算を要しない加減乗除、百分率の範囲である。日常的に接している体重について、スポーツ科学の視点から実践的な活用を問うものである。

III：人間は誰しも、かつて子どもだった時代から、いつしか大人へと成長する。その成長プロセスにおいて、大学生はまだ子どもと言えるのか、あるいはもう大人と言うべきなのか。この小論文は、大学生になろうとする受験生自身に、大学生とはどのような存在なのかを考えてもらう問題である。議論の仕方は自由で構わないが、たとえば「子ども」と「大人」の定義を考えることから始めてもよい。また、中学校・高校では生徒と呼ばれるが、大学では学生と呼ばれるように、言葉の違いに注目してもよい。さらに法的な成人年齢が、20 歳から 18 歳へ切り下げられた今日的な状況に触れてもよい。他にも、身体や精神の発達段階、社会生活上の責任の所在、いわゆる「一人前」と見なされる条件など、関連する論点は多岐にわたるだろう。自身のこれまでの経験や目指すべき理想的人間像も交えて、大学生とは何かを独自の観点から自由に議論することを期待したい。以上の独自の探求を展開する思考力・判断力・表現力を問うた。